

北区農業委員会だより

Kita Ward Agricultural Commission Public Information



阿賀一番卵

新潟市北区で鶏卵種を約4万羽飼育しており、現社長の父より始め、約50年続いています。鶏の体調管理をしっかりとすることで良い卵が産まれるため、ストレスを与えないよう飼育しています。

そのために、毎日鶏舎を見回り、適切な温度管理を行い、美味しい水、良質なエサ（酵母、乳酸菌など）を与えています。毎日の鶏糞の処理もとても大切です。

夏場は熱く、温度管理がとても難しいですが、鶏のことを一番に考え管理しています。

卵は「完全栄養食品」と言われるほど栄養価の高い食品です。より多くの方に食べてもらいたいため、臭みが少なく味がしっかりした卵を作っています。

余計な添加物を与えていないので、安心して生でも美味しく食べられます。

小林養鶏場(有)

小林 茂さん(長戸呂)



北区農業委員会視察研修に参加して



農業委員
本田 敏明
(新井郷)

令和元年11月5〜6日の2日間、
県外視察研修に参加しました。

1日目は、平成28年3月に日本
農業賞個別経営の部で大賞を受賞
した前橋市の「堀越園芸」を訪ね
ました。

平成26年の豪雪で3,600㎡
のハウスが倒壊したものの、その
後再建を重ね、現在は大型ハウス
4棟で1.27haを経営しています。

ハウスでは、越冬から抑制まで
年4作キュウリを作付けし年間400
t出荷体制を整え、18名のパート
従業員の間雇用体制を確立して



います。父・長男・次男それぞれ
の夫婦3組で役割を分担すると
もに、作業者の動線を考え、労働
負担の軽減や出荷・調整作業の効
率化を図り快適な作業環境を整備
しています。

また、完熟たい肥の施設や緑肥
作物を作付けして土作りを行うと
ともに、細霧装置を利用した薬剤
散布の省力化や、複合環境制御装
置による自動化も進んでいました。

2日目は、「JA前橋市きゅう
り・なす選果場」を訪ね、施設の
概要についてお話しを伺った後、
実際にキュウリを選別している設
備の様子を見学しました。

平成30年3月にスタートした
新しい設備は1日最大4,500
ケースの処理能力があり、生産者
が事前選別のうえ持ち込んだコン
テナから、次々に自動選果レーン
を流れて箱詰めされ、京浜地区の
6〜7市場に分けて出荷されてい
るとのことでした。

選果場への持ち込みは生産農家



数の40%、面積で60%とのことで、
利用率がやや低いのは1箱当たり
135円ほどになる施設の利用率が高
いと感じる農家さんが多いので
は？とお話ししました。

選果場の見学とともに隣接する
直売所「産直ゆうあい館」や「道
の駅川場田園プラザ」を視察して
有意義な研修をさせていただきま
した。

農地利用最適化推進委員レポート

農地利用最適化推進委員になって



農地利用最適化推進委員
阿部 浩行
(神谷内)

私は、二十歳頃から葉タバコの耕作者として農業をやっていますが、8年ほど前にタバコを取り巻く環境の悪化とともにJT（日本たばこ産業（株））の葉タバコ農家に対する締め付けも厳しくなってきた。その年に限り葉タバコ作りを辞める人たちに廃作奨励金を出すとということになり、南浜地区では20名近くいた耕作者のほとんどが廃作し、残ったのは1軒だけでした。

葉タバコ作りを辞めてスイカやメロンを中心にいろいろ作ってきた。しかし、南浜地区ではタバコ畑だった畑の多くは耕作放棄地になっていきます。現在は草だけではなく木も生えてきて、農地として年々再生が難しくなってきました。農家の高齢化も進んだことで、農業を辞める人も増えてきました。しかし、ここ数年ではあります。南浜地区では農家の後継者が増えてきました。中には親は農家を継がないけど、その子どももついでに孫が農業を始めるという、私たちの頃はほとんどなかったパターン。農家が増えてきました。その人たちが見ていると、チャレンジ精神が旺盛というか怖いもの知らずというか、様々な作物に挑戦し、親がいたら反対されるだろうなと

思うことも自由にやっているように見えます。私が農業を始めた頃は親の手伝いをしていて、今で農業をしていますが、今の若い世代の農家は、最初から自分で何を作るか決めて直ぐに事業主として頑張っているようです。最近の農家を継ぐパターンとしては良いパターンなのかなと思っています。

この若い世代の人たちが、将来農業としてずっと頑張っていけるように、農地利用最適化推進委員として少しでも力になれるように頑張りたいと思います。



継続三期勤務表彰



令和元年11月19日に新潟県農業会議の石山会長から、（写真、左から）首藤正男さん、後藤宗一さん、小林浩さん、金井均さん、陸均さんが表彰されました。

5名の方は、長年にわたり農業委員会委員として、地域農業の発展に尽くされ、農業者の地位向上に努力された功績が認められたものです。これからも、地域農業者のリーダーとして益々のご活躍を祈念いたします。

農業頑張ってます！



熊倉 健さん (35歳) 新発田市下新保

農業を始めたきっかけは

平成27年4月、私の農業人生はスタートしました。

それまでは、新発田市にある工場で製造業に従事していました。12年程働き、年齢も30歳になった頃、目標を見失い仕事に対するやりがいも薄れていってしまいました。そんな時、テレビや雑誌で新規就農者を取り上げたニュースを目にし、直感的に「これだ！」と感じました。

それまでの農業に対するイメージは、キツイ・朝が早い・儲からない

といったネガティブなものでした。

しかし、ニュース等で見る若手農業者たちの目はキラキラして見えませんでした。10年以上働いた会社を辞めるのに時間が掛かりましたが、「後悔したくない」という思いから一歩を踏み出す決意をしました。

農業の経験、知識など全くなかったため、勉強・研修することを決め、平成27年4月新潟市西区の農家で研修をスタートしました。

「農家は大変」だという覚悟はしていました。自分が想像していた以上に農作業は大変でした。

連日の筋肉痛、夏の暑さで心が折れそうな日もありました。しかし、食べ物を一から作るやりがい、消費者の声ダイレクトに聞こえてくるといった農業特有の良さを身をもって体験することができました。

研修先での経験は農業を始める前の「これだ！」と感じたことに間違いがなかったことを確信し、新規就農することを決めました。

約3年間の研修期間中に自分が何を作りたいのか、どこで生きていきたいのかを考え、平成31年から北区白勢町でスイートコーン、甘藷、長葱、小松菜を栽培しています。

苦労したことは

新規参入のため、農地の確保、作業小屋の確保、農機具を揃えること、野菜の管理・栽培方法等、苦労をしたことをあげればキリがないように思います。

しかし、今思い返せば、大変だったという思いよりも自分で決めた道であり、こういうことを経験したかったという気持ちの方が強く、とても充実した日々を過ごせたと思います。

就農1年目のスタートを切れたのも、農協の職員の方々や近隣の農家

の皆様から親切丁寧に助言していただいたおかげだと思っています。

まだまだ経験も浅く毎日が勉強の日々ですが、お世話になっていく方々のためにも一人前の農家になり、期待に応えられるように努力し続けていきたいと思っています。

今後の目標は

新規就農し1年目を終え、2年目のスタートを切ろうとしています。

1年経験してみても自分の出来ること、出来ないこと、このままではダメだと思ふこと等、様々なことを知ることができました。就農前に「将来こうなりたい」と思い描いていたことに変化もありました。

そういった経験の中で、まずは畑の管理、現在作っている野菜の栽培方法の確立を目指していきます。野菜栽培はやはり水やり、病気、害虫、天候の変化への対応等たくさんさんの知識や経験が必要になってきます。先輩農家さんの意見を多く聞いた上で、自分の色やこだわりを見つけていきたいと思っています。

そして、年々栽培面積を拡大していきたい、5年以内に新たな作物を導入したいと考えています。



実勢賃借料（北区）の情報

ここでお知らせする賃借料は、平成31年1月から令和元年12月までに締結（公告）された貸し借りの実勢の集計値（10aあたり）で、賃借料決定の参考として提供するものです。

契約の際には、貸し手と借り手の両者でよく協議したうえで賃借料を決定してください。

耕地別	平均額（加重平均）	最高額	データ筆数
		最低額	
田	14,100円 〔 土地改良費の経常経費を含むと 23,000円 〕	30,000円 8,000円	1,957筆
畑	8,100円 〔 新潟市6農業委員会の平均数値 〕	12,000円 1,000円	402筆

※新潟北土地改良区の土地改良費の経常経費（事務所費・維持管理費・揚水機費の合計金額）は、8,900円/10a（加重平均）です。

令和2年 農作業別機械料金及び作業賃金の参考額

◎下記の料金表は参考額です。ほ場条件や作業内容等によって両者協議のうえ、決定してください。

1 【農作業別機械料金】

耕地別	作業種目	機械別	単 位	標準料金	備 考	
田	育 苗	稚苗育苗	1箱	750円	種もみ含む・運搬含まず	
	機械あぜぬり	あぜぬり機	1m	40円	片ぬり	
	元肥散布	—	10a	1,000円	20kg×2袋・運搬含まず	
	耕 起 代 か き	トラクター	10a	5,400円		
				6,200円		
	田植	普通	田植機	10a	6,000円	施設からほ場までの運搬含まず
		側条			7,000円	
	溝 切 り	—	1m	10円		
	刈 取	普通刈	コンバイン	10a	17,000円	もみ運搬・搬入含む
		片刈			22,000円	
乾燥・調整	—	60kg	1,800円			
全面受委託	—	10a	63,000円	育苗、耕起、代かき、田植（普通）、普通刈、乾燥・調整		
畑	耕 起	トラクター	10a	5,400円		

2 【作業賃金】

耕地別	作業種別	男女基本給
田	一般作業	6,700円/日額
畑	一般作業	6,700円/日額
	せん定整枝作業	9,000円/日額

※基本給は1日8時間、賄いなし。いずれも消費税は含まれておりません。

後期農地パトロールを実施

昨年11月18日(月)に後期農地パトロールを実施しました。

前期の農地パトロールの調査を基に、主に豊栄地区の遊休農地について現況確認と、転用により遊休農地が解消された農地の確認を行いました。

今後も農地パトロール期間だけでなく、農業委員・農地利用最適化推進委員が連携してパトロールを実施していきますので、遊休農地の解消、発生防止にご理解とご協力をいただき、農地の適正な管理をお願いいたします。



老後の備えに 農業者年金に加入しましょう

新しい農業者年金制度は農業者の老後生活の安定と福祉の向上に加え、保険料助成を通じて担い手を確保するという目的を合わせ持つ政策年金です。

60歳未満の国民年金第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する者であれば誰でも加入できます。農地を持たない農業者や家族従事者も加入できます。

● 将来受給する年金を自ら積み立てる方式です。

● 条件により保険料に国庫助成があります。

● 保険料を自由に選択できます。
(保険料を月額最低2万円から)

※詳しくは北区農業委員会事務局へ
☎ 387-11585

全国農業新聞

農家の経営と くらしに役立つ情報紙

* 月4回発行(毎週金曜日)

* 購読料: 1ヶ月 700円

* お申し込み

農業委員、推進委員または
農業委員会事務局へ

☎ 387-1585

◆ 編集後記 ◆

早いもので、令和2年がスタートして3カ月。
災害、異常気象による被害の少ない平穏な年になってもらいたいというばかりです。
さて、農業の担い手、後継者問題等、農業経営の継承が喫緊の課題となっています。現役世代が確立した経営は大きな財産。それを次世代に引き継ぐことは、地域の農業や農地を守るうえでも重要です。
農業者、関係機関、地域とともに未来に繋げていきたいと思えます。
最後に、この編集にあたり皆様からご協力いただき感謝申し上げます。
(編集委員 坂井祐一)

総会開催日

3月30日(月)、4月30日(木)、5月29日(金)、6月30日(火)
*傍聴者の定員は5名

農地の貸付・売買等の締め切り日

● 農地法第3条・4条・5条関係

3月9日(月)、4月9日(木)、5月11日(月)、6月10日(水)
*毎月受付、各月10日頃が締め切り日です。

● 農業経営基盤強化促進法関係、 利用権の設定(賃貸借)

令和2年作付分は3月25日(水)が最終締切日です。
令和3年作付分
8月25日(火)、9月25日(金)、10月23日(金)
*利用権設定のほか売買・交換の受付は8月から3月まで、
各月25日頃が締め切り日です。